

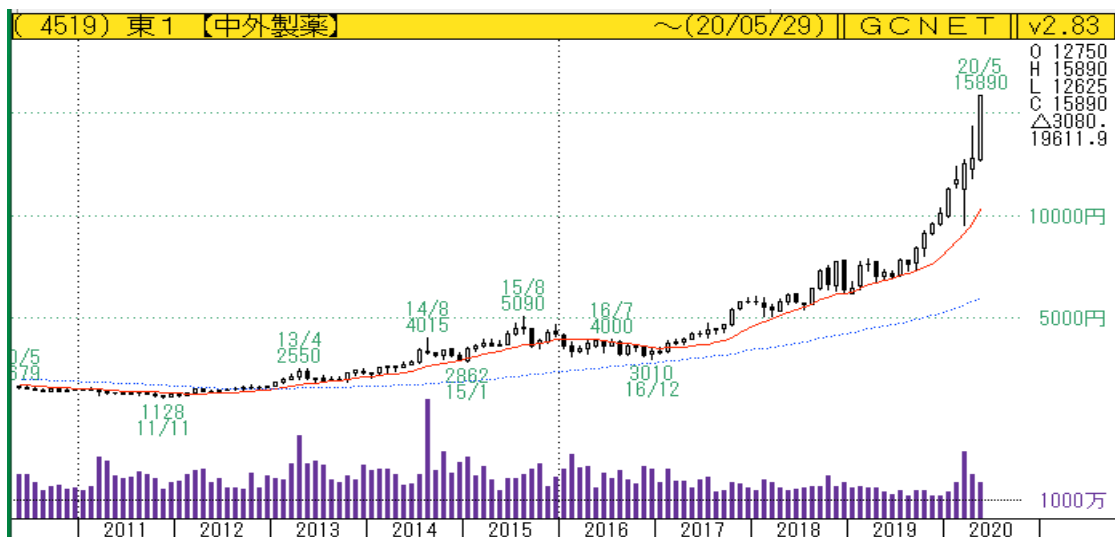
(令和2年6月01日)

< ワンポイントレッスン (実践) >
(コア銘柄と長大陽線)

【コア銘柄と長大陽線】

本サイトのマーケット・タイピング (証券会社からのリンク利用のみ) では、タイピングを測る指標の一つとして、コア銘柄の数やコア銘柄の中で長大陽線を形成した銘柄数をトレースするものがあります。コア銘柄は、マーケットの短期的な動きに左右されることなく、長期上昇トレンドを形成している銘柄という位置づけですが、一定の検索条件で毎週スクリーニングしています。そして、経験則では、これらの銘柄が調整局面に入る際には、直前に長大陽線を何本か連続して形成することが珍しくありません。

(長期上昇トレンドの銘柄・例)



All Copyright © ゴールデン・チャート社

振り返ってみると、アベノミクス相場で、2013年5月下旬にそれまで時間をかけて値を上げてきたコア銘柄が人気化、長大陽線を形成した後に調整に入りました。比較的、判り易い行き過ぎから調整への局面でした。

(このコーナーでは、個別銘柄のチャート等を掲載して解説することがありますが、マーケット全体をみるために利用するもので、個別銘柄の推奨等を行うものでは、全くありません。念のため)。